



会報第19号発刊に寄せて

会長 K/T

本年度新津ハイキングクラブの、活動の一つの集約として、「平成22年度山行記録」（会報第19号）をお届けします。

この発刊に当たって、中心的に尽力頂いた広報部の皆さんへ、各山行の実施と記録の労をとられた幹事の皆さんへ、貴重な感想文・紀行文を寄せられた参加者の皆さんへ、そして、会の活動を盛り上げてくださった全ての会員の方々へ、厚く御礼申し上げます。ここに盛り込まれた貴重な記録は、懐かしく思い出す、よすがとして、あるいは、来年度も頑張るぞという励みとして、それぞれの想いで読んで頂ければと思います。

それにしても、今年の猛暑は大変なものでした。異常気象が当たり前のような昨今ですが、一般山行46コース中、実施が31件に対して、悪天候で中止4件は止むを得なかったとしても、少人数での中止11件は残念なことでした。とは言え、実施にせよ中止にせよ計画からそれに至るまでの過程を推し量ると、本当にご苦勞様でしたと申し上げたい。更に、今年度も（現時点で）全ての山行を通じて、保険適用の事故が1件もなかったことは何よりも喜ばしいことです。

年毎に体力の衰えを感じ、健康面でも心配事の種が増えがちな中高年の私達にとって「丈夫で長もち」は共通の願いです。その上になおも「張り合いをもち心豊かに」と念じ、様々なところへウイングを伸ばしていますが、中でも、私達が目指す「山歩き」は、さまざまな要素を包含する、素晴らしい活動だと考えます。会の活動が私達一人一人を励まし、私達一人ひとりの活動が、また更に会を活性化します。会員の皆さん、どうか、会の活性化のため、そして引いては自分自身のため、会の活動に参加しましょう。またそれを支える幹事の皆さん、来年度もどうかよろしく願いいたします。

会員の募集に関連して

会則第3条に「本会の会員は、原則として新津地区在住者・・・」とありますが、先般幹事会で協議の結果、「原則として」の部分を敷衍して、“新津地区在住者以外であっても、文書等の引受者が新津地区に居る場合は、それを受け入れる（平成23年度より）”としました。なお、従来からの当該者についても、可能なかぎり文書等引受者を連絡頂ければ有難いと思います。